



信用金庫の預貸率の動向

とね かずゆき
刀禰 和之

ポイント

- 全国信用金庫の2013年度末の預貸率（預金には譲渡性預金を含む。）は、前期比0.6ポイント低下の50.3%となった。2003年度末（58.9%）から8.6ポイント低下したが、預貸金の増減が預貸率に与える寄与度をみると、預金残高の増加に伴うマイナス要因が大きく影響している。
- 地区別の預貸率は、南九州を除く10地区で前期を下回った。四国が38.5%に低下したほか、北海道、東北、北陸、関東の4地区で40%台となった。
- 預金規模別の預貸率は、「7,000億円以上」の計3階層で50%台を維持した。
- 信用金庫別の預貸率は、69金庫で前期を上回った。このうち、預金・貸出金とも増加し、さらに貸出金の増加率の方が大きかった信用金庫は62金庫であった。
- 信用金庫別の預貸率の分布をみると、40%未満が42金庫、40%以上50%未満が115金庫、50%以上60%未満が82金庫、60%以上が28金庫となった。2003年度末と比較して、70%以上の信用金庫が23金庫から2金庫に減少している。

1. 預貸率の推移

(1) 信用金庫の預貸率

全国信用金庫の2013年度末の預貸率は、前期比0.6ポイント低下の50.3%となった（図表1）。信用金庫の預貸率は2013年4月以降、月末ベースで50%を割ったが、年度末には50%台を確保できた。2003年度末（58.9%）と比べると、8.6ポイントの低下となる。

2013年度末の他業態の預貸率は、都市銀行が61.1%、地方銀行は70.4%、第二地方銀行は72.5%であった。

2003年度末との比較では、都市銀行が12.4ポイント低下した一方で、地方銀行（2.2ポイ

ント低下）、第二地方銀行（3.1ポイント低下）の低下幅は小さい。

(2) 預貸率変化の寄与度分析

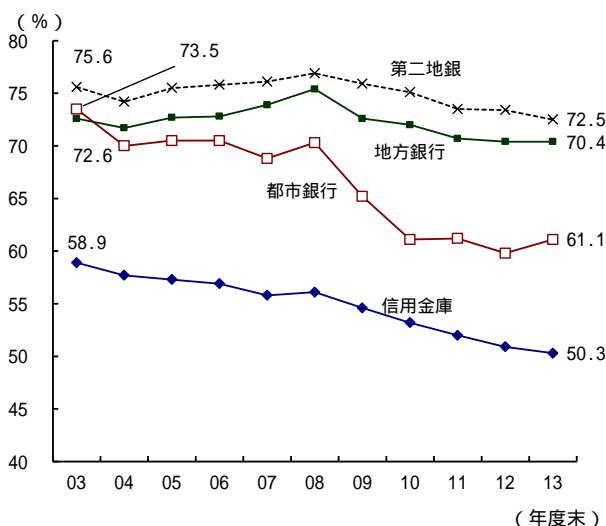
2013年度における預貸率の変化を、預貸金の寄与度で分析すると、預金が1.3%のマイナス効果だった一方で、貸出金は0.6%のプラス効果だった（図表2）。

2003年度末から2013年度末までの寄与度で見ると、預金が10.6%のマイナス効果、貸出金は2.0%のプラス効果となった。

2. 地区別の状況

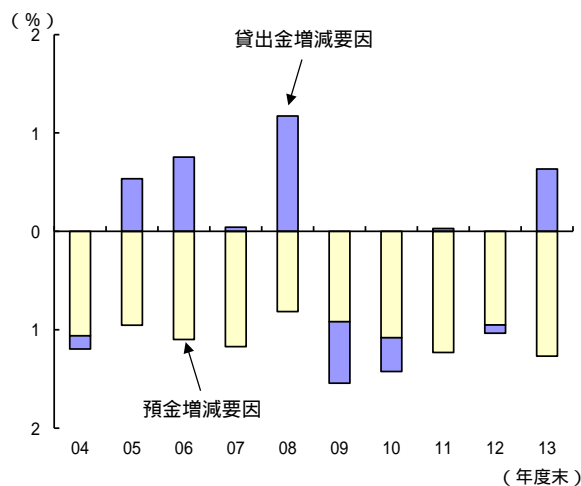
2013年度末の地区別の預貸率は、南九州が前

（図表1）業態別の預貸率



（備考）他業態は日本銀行HPより作成

（図表2）預貸率の寄与度分析



期並みとなったほか、10地区で前期を下回った(図表3)。地区別にみると、四国が38.5%まで低下し、北海道、東北、北陸、関東の4地区は40%台であった。

2003年度末と比べると、4地区で2桁の低下となり、なかでも四国は19.4ポイント低下している。

3. 預金規模別の状況

2013年度末の預金規模別の預貸率は、「7,000億円以上」の3階層が50%台となった(図表4)。「1兆5,000億円以上」が54.1%と最も高く、「2,000億円以上3,000億円未満」は45.0%にとどまった。2003年度末と比べると、2階層で2桁の低下となった。

4. 信用金庫別の状況

(1) 前期比の増減状況

2013年度末の信用金庫別の預貸率は、69金庫(構成比25.8%)が前期比上昇した(図表5)。

このうち、預金・貸出金とも増加し、貸出金の増加率の方が大きかったのは62金庫(23.2%)、預金が減少し、貸出金が増加したのは5金庫(1.8%)、預金・貸出金とも減少し、預金の減少率の方が大きかったのは2金庫(0.7%)であった。

(2) 預貸率の分布

2013年度末の信用金庫別の預貸率割合は、40%未満が15.7%(42金庫)、40%以上50%未満が43.0%(115金庫)、50%以上60%未満が30.7%(82金庫)、60%以上が10.4%(28金庫)であった(図表6)。

2003年度末の分布と比べると、40%未満の割合が3.5%(11金庫)から15.7%に高まる一方で、60%以上は40.5%(124金庫)から10.4%に低下した。なかでも、70%以上は、23金庫から2金庫に、30%未満は2金庫から8金庫に大きく変化している。

以上

(図表3) 地区別の預貸率

(単位: %、%ポイント)

地区	03年度末	12年度末	13年度末		
			03年度末 対比	12年度末 対比	
北海道	53.0	45.7	44.6	8.3	1.0
東北	59.7	46.2	44.6	15.1	1.6
東京	62.5	52.2	51.8	10.7	0.3
関東	57.7	50.2	49.6	8.0	0.6
北陸	57.3	46.7	45.6	11.7	1.1
東海	56.6	51.7	50.7	5.9	0.9
近畿	59.7	52.1	51.9	7.7	0.1
中国	59.0	53.5	52.6	6.4	0.8
四国	57.9	40.1	38.5	19.4	1.5
九州北部	62.3	56.2	56.0	6.3	0.2
南九州	63.8	55.7	55.7	8.1	0.0
合計	58.9	50.9	50.3	8.6	0.6

(図表4) 預金規模別の預貸率

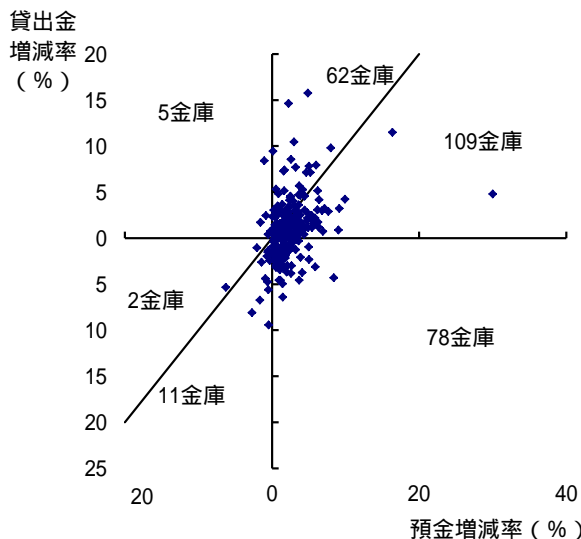
(単位: %、%ポイント)

預金規模	03年度末	12年度末	13年度末		
			03年度末 対比	12年度末 対比	
1兆5,000億円以上	62.4	54.4	54.1	8.3	0.2
1兆円以上	61.5	55.4	52.8	8.7	2.6
7,000億円以上	58.3	51.1	50.4	7.9	0.7
5,000億円以上	56.4	47.1	46.3	10.0	0.8
3,000億円以上	55.9	48.6	47.7	8.1	0.8
2,000億円以上	54.9	46.1	45.0	9.9	1.0
1,500億円以上	56.5	47.6	47.8	8.7	0.2
1,000億円以上	58.8	49.6	48.6	10.1	0.9
1,000億円未満	57.4	48.2	48.7	8.7	0.4
合計	58.9	50.9	50.3	8.6	0.6

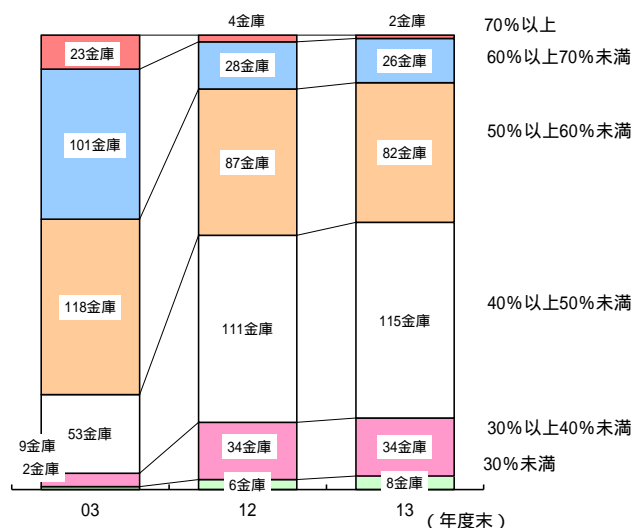
(備考) 1. 沖縄県は合計に含む。

2. 図表4ともに対比は、小数点第2位以下まで用いて計算後に第2位を切り捨てている。

(図表5) 信用金庫別の預金・貸出金の増減状況
(12年度末 13年度末)



(図表6) 信用金庫別の預貸率



本レポートは、情報提供のみを目的とした上記時点における当研究所の意見です。施策実施等に関する最終決定は、ご自身の判断でなさるようお願いいたします。また、当研究所が信頼できると考える情報源から得た各種データ等に基づいて、この資料は作成されておりますが、その情報の正確性および完全性について当研究所が保証するものではありません。